

V. 特記事項

1. 理科学研究の推進に寄与

○東海地区理科学研究発表会開催による高大連携

平成 29(2017)年度より、高校生の理系教育支援のため管理栄養学科の理系教員が中心となり東海地区理科学研究発表会を開催しており、令和 3(2021)年度は第 6 回目を迎えた(表 A-2-1)。高等学校の理科系部に研究の成果発表の場を提供することを目的として、発表会へのエントリーを促し、最終選考として本学で口頭発表会を開催している。審査は本学教授のほか、東海 3 県の高等学校理科専門部会長の学校長、岐阜県先端科学技術体験センター長などが行い、優秀な研究には表彰とともに研究助成金が贈られるシステムである。これにより、大学教員からの専門的なアドバイスが参加した高校生にフィードバックされ、高校からも課題解決型授業成果発表の場、専門的アドバイスを受けられると好評である。また、国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代人材育成事業、女子中高生の理系進路選択支援プログラムに従って、文理選択に迷う中高生が理系進路について広く知識を得られるような支援を行えるワークショップや中学生の見学も促すなどのプログラムも発表会と同時に実施している。令和 3(2021)年度に参加した高校生の満足度は 89%であり、対面開催時に比べ高校側のオンライン環境などの問題が影響したため、例年に比べ(第 1 回~4 回の平均満足度 92%)低値となったが、参加した高校生や高校教員、東海 3 県の高等学校や教育委員会から高い評価を得ている。

表 A-2-1 東海地区理科学研究発表会の応募件数一覧

開催実績	開催年度	実施方法	応募件数
第 1 回東海地区理科学研究発表会	平成 28(2016)年	対面	23 件
第 2 回東海地区理科学研究発表会	平成 29(2017)年	対面	30 件
第 3 回東海地区理科学研究発表会	平成 30(2018)年	対面	27 件
第 4 回東海地区理科学研究発表会	令和元(2019)年	対面	26 件
第 5 回東海地区理科学研究発表会	令和 2(2020)年	中止	25 件
第 6 回東海地区理科学研究発表会	令和 3(2021)年	オンライン	24 件